

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名	ニューアンダークリーナー
会社	パワーアップジャパン株式会社
住所	東京都世田谷区深沢1-9-9
電話番号	03(3705)3251
作成日	2015年12月15日
改訂日	2017年04月26日

2 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：

引火性物質 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） 区分5

急性毒性（経皮） 区分外

皮膚腐食性／刺激性 区分2

目に対する重篤な損傷／目刺激性 区分2

呼吸器感作性 分類できない

皮膚感作性 分類できない

生殖細胞変異原性 分類できない

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） 区分2

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露） 区分2

吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性

水性環境性有害性 区分外

水性環境慢性有害性 区分外

オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル表示

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ

皮膚に接触すると有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

臓器（腎臓）の障害のおそれ

長期または反復暴露により臓器（腎臓）の障害のおそれ

注意書き

<予防策>

環境への放出は避けること
取り扱い後は良く手などを洗うこと

<応急処置>

目に入った場合

直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹼を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合

揮発性が低いので特に問題がないと考えられる。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

<保管>

液が漏出しないように使用後は必ず密封する。
高温多湿、火気などを避ける。容器を転倒させたり、落下させたり等の乱暴な取扱いをしない。

<廃棄>

廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、都道府県の許可を得た業者に委託すること。

3 組成および成分情報

単一製品・混合物の区別
含有成分及び含有量

混合物

(成分名)	(含有量w t %)	(CAS. NO)	(適用法令)
POEAE硫酸エステル塩	15以下	68585-34-2	PRTR法
非イオン界面活性剤	非公開	非公開	なし
エチレングリコール	10以下	107-21-1	安衛法
金封鎖剤	微量	非公開	なし
青色色素	微量	非公開	なし
精製水	バランス	7732-18-5	なし

POEAE硫酸エステル塩：ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸エステル塩

4 応急措置

目に入った場合

直ちに清浄な流水で少なくとも15分間以上洗眼する。
洗眼の際、瞼を指で良く開いて眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。刺激等の異常が残る場合には直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

直ちに汚染した衣類、靴を脱ぎ、付着した部位を多量の水と石鹼を使って洗い流す。刺激が残る場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合

揮発性が低いので特に問題がないと考えられる。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し多量の水を飲ませ吐き出させ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5 火災時の措置

消火方法	火元への燃焼元を断つ。初期消火には、粉末、炭酸ガス泡消火器等を用いる。
消火者の保護	適切な保護具（保護手袋、保護マスク、保護眼鏡）を着用する。

6 漏出時の措置

漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。	
適切な消火器具を準備すること。	
適切な保護具を着用する。（保護手袋、保護マスク、保護めがね、保護前掛け等）	
少量の場合	おがくず、土砂、紙などを用いて吸収させ、空容器に回収する。 その後、漏出区域周辺を多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝などにそのまま流さないこと。
多量の場合	土嚢で流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する。 その後、漏出区域周辺多量の水で洗い流すこと。洗浄した水は地面や排水溝等にそのまま流さないこと。
室内で漏出した場合は、窓・ドアを開けて十分に換気を行う。	
川や一般排水溝等に排出しないように注意する。	
廃棄物は関連法規に基づいて処理する。	

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	取扱時は必要に応じて保護具を着用する。
保管	液が漏出しないように使用後は密封する。 直射日光、高温多湿、火気などを避けて密封して子供の手の届かない所に保管する。容器を転倒させたり、落下させる等の乱暴な取扱いをしない。凍結の恐れのある場所での保管を避ける。

8 暴露防止措置

設備対策	特に必要としない。
保護具	眼の保護具 側板付き普通眼鏡型・ゴーグル型を使用する。 皮膚の保護具 必要に応じてゴム手袋、保護前掛けを使用する。

9 物理及び化学的性質

外観	青色色透明液体
臭気	無し
比重	1.00 - 1.05 (原液 20℃)
pH	10.5 - 11.00
溶解性	水に溶解する
引火点	200℃以上 (推定)
爆発限界	(下限) データなし (上限) データなし
蒸気圧	データ無し
可燃性	燃焼する
発火点	データなし
酸化性	なし

10 安定性及び反応性

安定性	通常取り扱い条件においては化学的に安定。
避けるべき条件	高温 スパーク 裸火
混融危険物質	特になし

危険有害な分解生成物

燃焼してCO₂、COを生成する

1.1 有害性情報

急性毒性（経口）	区分5	LD ₅₀ ATEmix	4200mg/L
急性毒性（経皮）	区分外	LD ₅₀ ATEmix	70000mg/L
皮膚腐食性/刺激性	区分2	皮膚区分2の成分	10%以上含有
目に対する重篤な損傷/目刺激性	区分2	眼区分2Aの成分	10%以上含有
呼吸器感作性	分類できない	データ不足	
皮膚感作性	分類できない	データ不足	
生殖細胞変異原性	分類できない	データ不足	
発がん性	分類できない	データ不足	
生殖毒性	分類できない	データ不足	
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分2	区分1成分6%含有	
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分2	区分1成分6%含有	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	データ不足	

1.2 環境影響情報

水性環境性有害性	区分外	LC ₅₀ ATEmix	12000mg/L
水性環境慢性有害性	区分外	LC ₅₀ ATEmix	12000mg/L
オゾン層への有害性	分類できない	データ不足	

1.3 廃棄上の注意

廃液、容器等の廃棄物は、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

容器、製造装置などを洗浄した排水はそのまま流さないこと。

排水処理により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

1.4 輸送上の注意

国連分類	該当せず
国連番号	該当せず
陸上輸送	取扱い及び保管上の注意の項に従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。
注意事項	運搬に際しては容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を完全に行う。

1.5 適用法令

消防法	非該当
労働安全衛生法	施行令18-2（通知対象物質）エチレングリコール
毒物及び劇物取締法	該当せず
PTR法	第1種指定化学物質 POEアルキルエーテル硫酸エステル塩

1.6 その他の情報

（参考文献）

化学工業日報 16615の化学商品（2015）

社団法人日本化学会編 化学便覧（改訂5版）、丸善（2003）

原料MSDS（各社メーカー）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、上記の情報は新しい知見により改訂されることがあります。又危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので製品の取扱いには充分注意して下さい。また、情報は安全を保証するものではありません。本品の適正な使用については使用者の責任において行ってください

